

# バリアフリー教室（四国運輸局）

---

国土交通省 四国運輸局  
交通政策部 共生社会推進課

## ●バリアフリー教室の目的

駅や車両、道路などを即座に100%バリアフリー化できればよいのですが、すぐには難しいのが現状です。

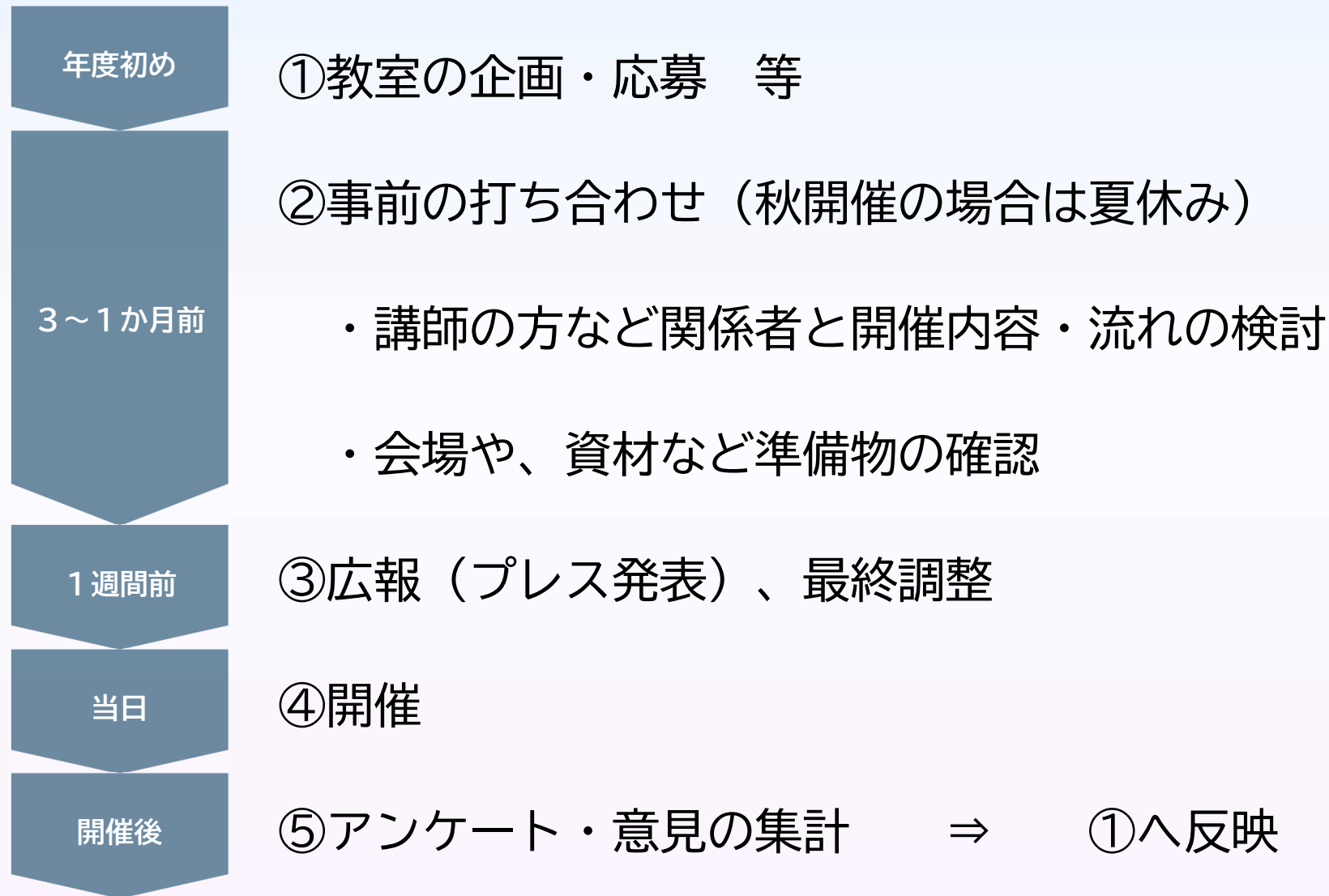
少しでも多くの方が、交通バリアフリーについての理解を深め、意識を醸成し、誰もが高齢者・障がい者等に対し、自然に快くサポートできる「心のバリアフリー」社会を実現するための活動です。

## ●バリアフリー教室の内容と期待できる効果

- ・ 介助体験や疑似体験を通して、多くの人に「心のバリアフリー」を身につけてもらうための啓発活動です。
- ・ 実際の路線バス車両等を使用してリアルな体験をしていただき、公共交通機関のバリアフリー化の進捗を学んでいただくといった内容です。
- ・ 心のバリアフリーの推進や参加者の口コミを利用したバリアフリーの普及・啓蒙や、外部に対する情報発信（マスメディア）が期待されます。

体験を思い出して、自然と声をかけてお手伝い出来るように！

## 2. 開催までの流れ



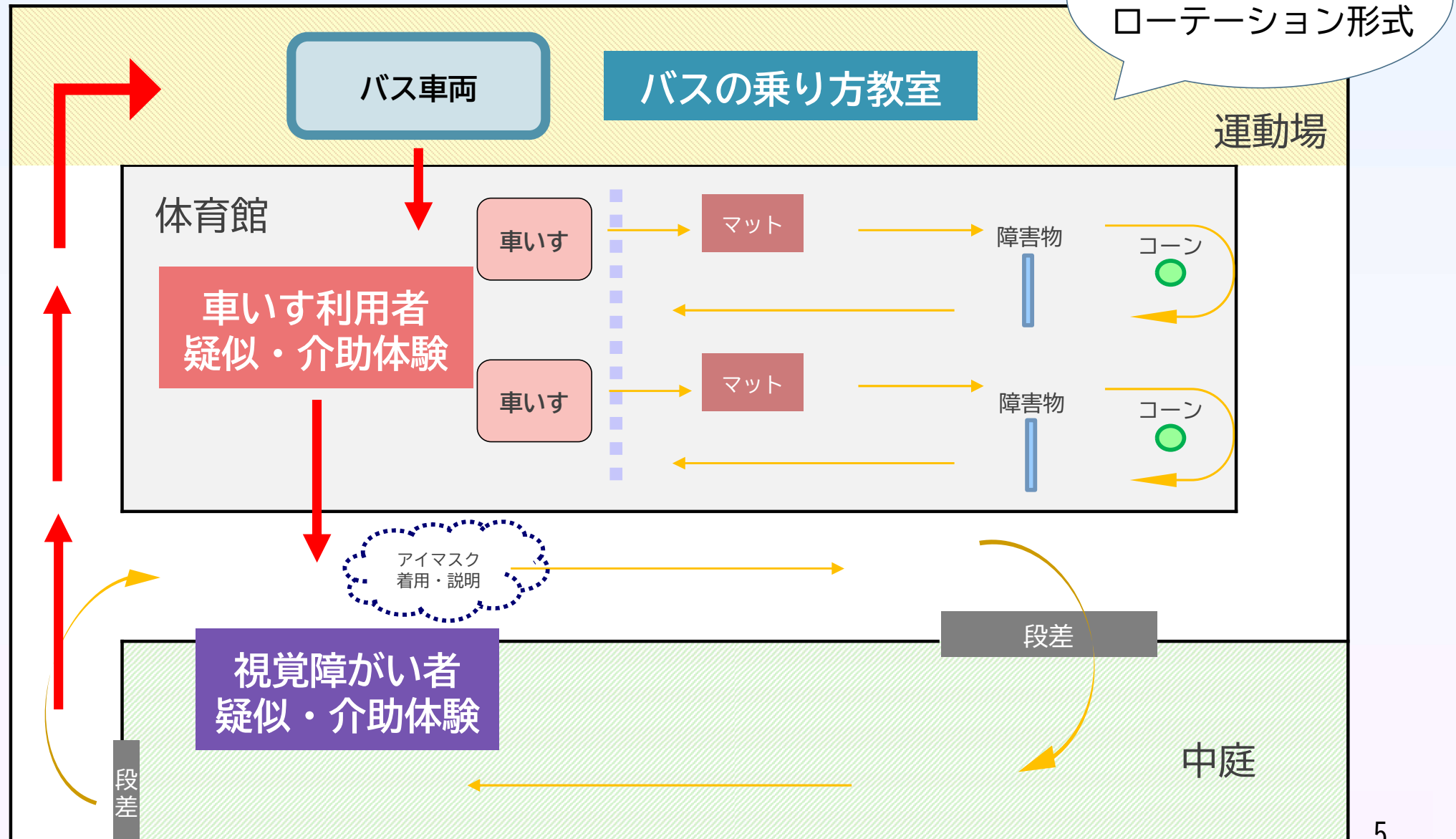
# 3. 体験授業のコース編成 (スタンダードコース)

## ● 3クラスの場合 (メニュー例)

全体で2時間程度  
(開・閉講式+移動時間)



## ●体験コース例（体育館・運動場・中庭のある学校）



# 5. 車いす利用者疑似・介助体験



段差越えられるかな



みんなでバリアを乗り越えよう

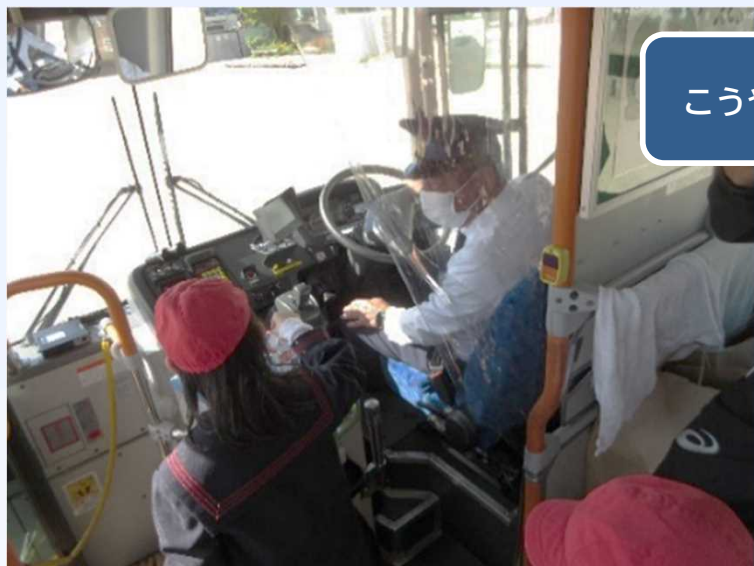


少しのバリアも大変

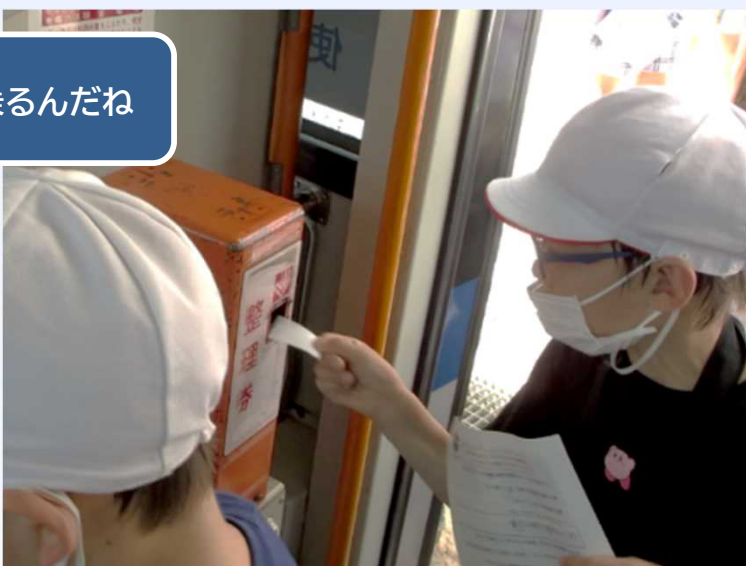


車いすを使って車いす利用者及び介助者双方の立場で体験学習を行います。  
疑似体験を通じて、車いす利用者の大変さを感じたり、介助の仕方を学習します。  
また、実際に車いすを利用している方にアドバイザーとしてコースを同行してもらいます。

# 6. バスの乗り方教室



こうやってバスに乗るんだね



バスの中には…



車いすで乗車できます

路線バスに実際に乗り込んで、ノンステップバスの特徴、バス停の説明、運賃表の見方、支払い方法、車内での注意点などの基本的な乗り方や車内のバリアフリー設備を学習します。また、バス乗務員の方が車いす利用者の方の乗降サポートを行う様子も見学します。

# 7. 視覚障がい者疑似・介助体験



スロープに  
なっているよ



いつも使う廊下の  
階段も怖いね



下りの階段、  
気を付けて

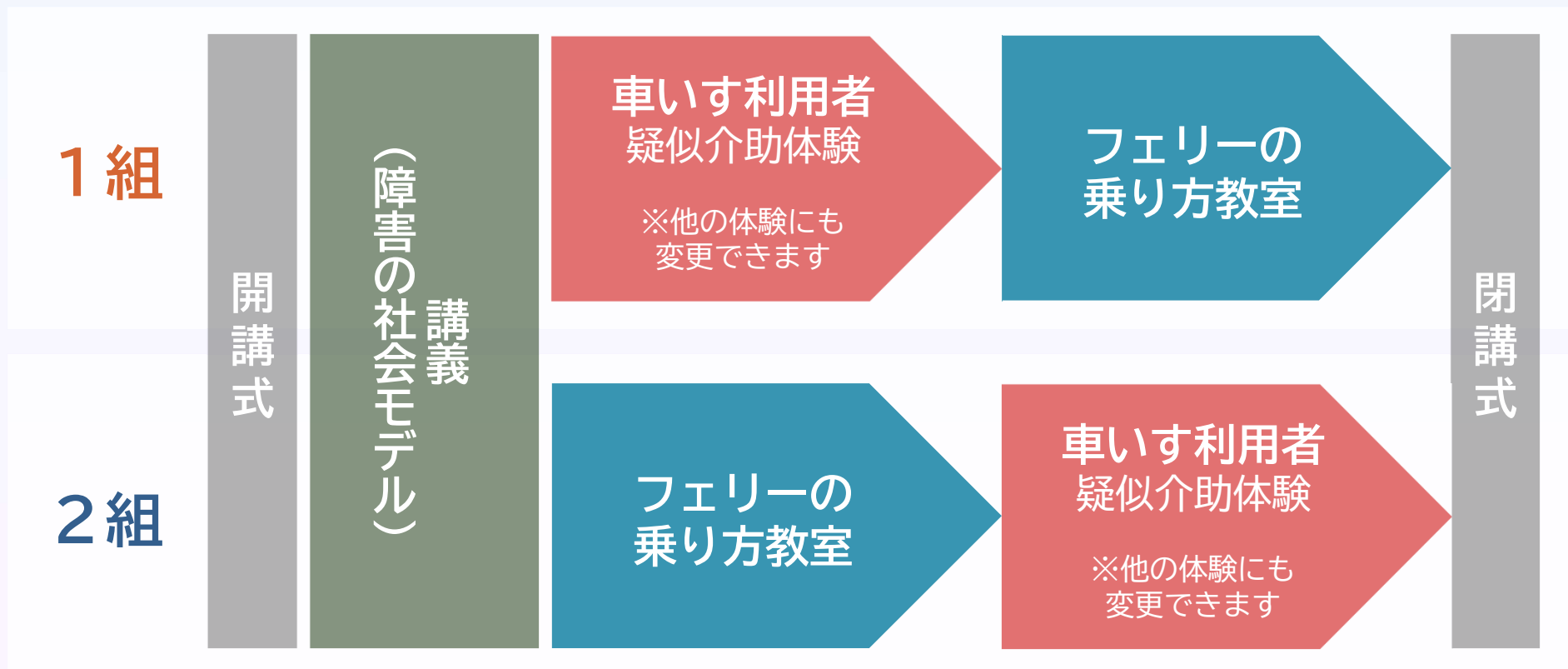


アイマスクを着用し、視覚障がい者及び介助者双方の立場で体験学習を行います。  
疑似体験を通じて、視覚障がい者の大変さを感じたり、介助の仕方を学習します。  
また、目の不自由な方にアドバイザーとしてコースを同行してもらいます。

# 8. 体験授業のコース編成（フェリー内での教室）

## ● 2クラスの場合（メニュー例）

全体で2時間程度  
（開・閉講式+移動時間）



# 9. フェリー内でのバリアフリー教室例

例：楠河小学校バリアフリー教室・フェリーの乗り方教室in東予港（令和6年11月1日開催）



フェリーの乗り方教室



船内の各種設備や入り口の広いバリアフリー客室等について学習しました。また、普段は入ることができないブリッジも特別に見学しました。



講義（障害の社会モデル）

車いす利用者の方より「障害の社会モデル」の考え方についてお話しいただき、障がいは社会の側にあり、周りの環境の変化や手助けによって乗り越えられることを学びました。



車いす利用者疑似・介助体験



車いすの操作方法を教わった後、段差に見立てた障害物や、バリアフリー化された船内のエレベーターや廊下を車いすで介助・自走し、乗っている人が安心できる押し方を習得しました。



# 10. その他メニュー例

## ●視覚障がい

- ・コミュニケーション体験（例「言葉だけで絵を説明してみよう！」）
- ・ロービジョンゴーグルやアイマスクを付けて支払い・切符購入体験

## ●聴覚障がい

- ・イヤーマフを付けて自己紹介や伝言をしてみよう。  
（身振り手振り、筆談、口話）

校外（鉄軌道車庫、旅客船、空港）  
での開催もご相談ください！

座学（一部体験あり）の教室  
のメニューも豊富

## ●高齢者・肢体不自由

- ・高齢者疑似体験セットを着用し、学校・駅内歩行体験、バス乗降体験

## ●その他

- ・内部障がい、知的・精神・発達障がいについて知ろう。
- ・日常生活の気づかないところにある工夫を、考えたり新しいアイデアを発表したりしてみよう。
- ・バリアフリークイズに挑戦してみよう。

オンライン版「あすチャレ！ジュニアアカデミー」も活用できます。

日本財団パラリンピックサポートセンターが主催する、パラアスリートを中心とした講師による、ワークショップ型授業です。オンラインでリアルタイムに障がい当事者講師とコミュニケーションをとりながら、共生社会実現のために、自分には何ができるか考えます。

# 1 1. お問い合わせ先

四国運輸局及び国土交通省HPにて、参考事例等をご覧いただけます。

開催にあたってご不明点やご相談等ございましたら、

下記連絡先へお気軽にご相談ください。

【四国運輸局HP】

<https://www.tb.mlit.go.jp/shikoku/soshiki/seisaku/kyousitu.html>

【国土交通省HP】

[https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/barrierfree/sosei\\_barrierfree\\_tk\\_000014.html](https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/barrierfree/sosei_barrierfree_tk_000014.html)

## お問い合わせ先

四国運輸局 交通政策部 共生社会推進課

〒760-0019

香川県高松市サンポート3-33 高松サンポート合同庁舎南館4F

TEL : 087-802-6727

E-mail : [skt-syougyouka3012@ki.mlit.go.jp](mailto:skt-syougyouka3012@ki.mlit.go.jp)